高専通信

苫小牧工業高等専門学校

National Institute of Technology, Tomakomai College

オリエンテーション
オープンキャンパス
高専体育大会
高専協力会だより
TOPICS

vol.149

第1学年オリエンテーション

1年1組
成瀬　稜汰

新たな一歩をふみ出す

入学してから約6カ月がたちました。4月19日・20日に、私たちはサンパレスでオリエンテーションに参加しました。最初はみんな緊張していて、今後どうなるかと思っていました。でも時間がたつにつれて、学年の仲がどんどん深まっていきました。オリエンテーションでは、各講演や先輩方への質問、ホームルームなどをしました。自由時間はプールに行ったり、温泉に行ったり、ゲームしたりなど人それぞれだと思います。私はこのオリエンテーションを通して、個人旅行ではなく、集団で旅行・行動しているということ、そして、時間をしっかり守ることなど、基礎的なことをあらためて学びました。オリエンテーションを終えて、私たちは「高専生」としての一歩をふみ出しました。

1年2組
阿部　　直

オリエンテーションを終えて

私が一番印象に残ったのは先輩方のキャリア講演会です。先輩方の話はとても楽しく、わかりやすく、そして系の内容等もしっかり混ぜた話だったので、とても勉強になり、そして気楽に受けることができました。ある先輩が寮の話をして下さいました。私は寮生なので寮生活するにあたって不安や悩みがありましたが、アドバイスをして下さったおかげで、めげずにがんばろうと思えました。

最後に、私たちは将来社会で活躍する有能な人物になるためにこの学校に入学しました。なので、私たちは技術の向上だけではなく、人間性も身につけなければなりません。自分の描いた夢に今からでも近づけるように、この高専で過ごす日々を大切に歩んでいきたいと思います。

1年3組
武藤　遥来

高専生活スタートのオリエンテーション

第1学年のオリエンテーションは4月19日、20日の2日間で開催され、クラスや学年での交流のとても良い機会になりました。プログラムのコミュニケーションゲームや各講演はとても有意義であり、また自由時間もプールでビーチバレーを楽しんだり、部屋でトランプやゲームなどを楽しんだりして、いろいろな人たちとこれまで以上に交流を持つことができました。

特に3年生から5年生の先輩方によるキャリア講演会では、2年生での系配属や各系の特色の説明、高専での勉強についてのアドバイス、さらには取得したほうが良い資格なども教えてもらうことができました。

最後に、このオリエンテーションに参加することで、本当の意味で高専生活のスタートを切ったように思います。今回学んだことを活かして、授業や部活、各行事などに積極的に臨んでいきたいと思います。

1年4組
菅原　　柚

第1学年オリエンテーション

4月19、20日に、洞爺サンパレスにて第1学年オリエンテーションが行われました。まだクラス全員の顔と名前を覚えきれていない中での出発だったので少し不安がありましたが、大きなトラブルもなく、天候にも恵まれて、二日間とも楽しく有意義に過ごすことができて良かったです。

このオリエンテーションを通して、系選択においての心構え、コミュニケーションの取り方等、本当にたくさんのことを学び得ました。

今回学んだことを胸に、新しい仲間と互いに切磋琢磨してこれから充実した高専生活を送れるように頑張ります。

1年5組
沖本　拳一

オリエンテーションを終えて

4月19、20日に新入生オリエンテーションが行われ、そこで私たちのクラスは友情を深めることができました。理由は様々なことが挙げられますが、初日に行ったレクリエーションゲームが考えられます。このレクリエーションゲームでは国立日高青少年自然の家から中西さんを講師に招き、じゃんけん列車などの色々なゲームを行い、クラスのみんなと協力をして一斉に立ち上がる遊びをしました。最初はうまく立ち上がることができませんでしたが、何回かチャレンジしていくうちに、最後の一回目で見事に立ち上がることができました。その時のクラスの連帯感は、すごいものを感じ、このことから私が学級委員長として、更に1年5組をまとめ、強い結束を持てるクラスにしていきたいと心から思いました。

第2学年オリエンテーション

２年１組
小澤　恵太

機械系オリエンテーションに参加して

４月１１日に第２学年のオリエンテーションが実施されました。機械系とは何か、今後どのようなことを学ぶのか、また卒業後の就職・進学状況などについて詳しく教えていただきました。教職員の方だけでなく、先輩方からも実際に話や質問を聞く場面があり、より身近な意見を聞くことができました。

入学して１年経ちますが、まだわからないことも多いです。このオリエンテーションを通し、今後の見通しを持つ事が出来ました。また今のクラスメイトとは４年を共にするメンバーであるという実感も沸きました。クラスのまとまりで学生生活をより充実したものへとしていけると思います。

２年２組
森　亮太朗

都市・環境系オリエンテーションに参加して

都市・環境系第２学年のオリエンテーションでは、主に先生、先輩方からどのような系なのかを学びました。先生方からはどのような勉強をするのか、将来どのような職に就くのかを教わりました。系の説明が終わった後はグループを作り、それぞれのグループで４、５年生の先輩から話を聞くことができました。同じ系の先輩と話す時間はとても有意義でした。気さくで話しやすく、取っておいたほうが良い資格、今のうちにやるべきことなど高専生活をより良くしていくためのアドバイスをたくさんして頂けました。クラスの目標である「提出物の期限をしっかり守る」「授業を大切にする」をクラス全員が守り、４年後に１人も欠けることなくこのクラス全員で卒業したいです。

２年３組
長澤　　希

応用化学・生物系オリエンテーションに参加して

私たち創造工学科応用化学・生物系２年は４月１７日にオリエンテーションがありました。オリエンテーションでは系長のお話や教職員全員からの自己紹介、先輩方からのお話などがありました。先輩方からのお話では自分たちの睡眠時間や勉強時間がどのくらいなのかということや、レポートを書くための時間の使い方などを学びました。最後は各班に分かれて設備や実験室を見学しました。分析装置や実験設備はどれも高額なものばかりで驚きました。見学後は教室に戻りグループワークをした後、発表があったのですがみんな真剣に取り組んでました。今回のオリエンテーションを受け、これからの学生生活をどのように過ごしていくのか考える良い機会になりました。

２年４組
森山　碧月

電気電子系オリエンテーション

私たち２年４組は、４月１７日のオリエンテーションに参加し、これから学ぶ専門科目の内容や、進路に関すること、また、各実験室の見学や、先輩から系や学校生活についてのお話を聞かせていただきました。

特に研究室見学では、プラズマに触り、自動で追いかけて来るロボットを見たり、バーチャルサウンドなどの研究を拝見し、これから私たちが学んでいく内容が、具体的にわかりました。

先輩との交流会では、これから学校生活を送る上で大切なことや心構えなどを教えていただき、今後の勉強や学校生活について深く聞くことができ、とても有意義な時間を過ごすことができました。

電気電子系の学生として学んでいく上で、しっかりできるか不安なこともありますが、最終的に私たち全員が一緒に卒業できるように頑張ります。

２年５組
伊勢谷凌一

情報科学・工学系オリエンテーションに参加して

創造工学科情報科学・工学系２年５組である私たちは、４月17日にオリエンテーションを行いました。２年生になり、本格的に専門の勉強が始まる私たちにとって良い経験になったと思います。

オリエンテーションでは、教職員の紹介、情報科学・工学系の説明、進学状況、先輩学生からの話など、これから卒業までに必要な事を知ることができました。

特に専攻科１年の先輩からの話からは、レポートや勉強の忙しさ、先生方の特徴などを知ることが出来て、これからの勉強に、より力を入れることができると思います。

オリエンテーションの終わりには、クラス全員で自己紹介をしました。これから同じクラスメイトと４年間過ごしていくので、このメンバーで良かったと思えるクラスになってほしいと思いました。

これからこの学校を卒業するまで、情報科学・工学系の学生としてより多くの知識を学び、より楽しいクラスになってほしいです。

授業参観

平成 30 年度 授業参観の結果について

教務主事補 大橋智志

平成 30 年度の授業参観を５月２日（水）9:00 ～ 14:45 の時間帯に実施いたしました。授業参観には、計 349 名（平成 29 年度 275 名、平成 28 年度 205 名）の保護者のみなさまに来校いただき、本校の教育内容についても関心の高さを伺える結果となりました。

授業参観日はゴールデンウイーク後半の前日に実施することにし、学生寮に寄宿する学生が保護者のみなさまと帰省しやすい日程調整をいたしました。また、当日は木曜授業日となっており、英語や数学といった一般科目、各専門系の講義のほかに、本校の特徴的な科目となります創造工学Ⅰ・Ⅱ、専門系の実験・実習等も見学できるようにいたしました。

本校は平成 28 年度より創造工学科に改組し、今年で３年目となりました。１年生は全員が同じ科目を受講し、２年生は自ら熟考し選択した専門系（機械系、都市・環境系、応用化学・生物系、電気電子系、情報科学・工学系）に所属し、５年生まで専門内容を講義や実験・実習、卒業研究を通じて学びます。本校では、学年進行に準じて専門系科目の時間数が増え、実験・実習内容もより専門性が高まるだけではなく、４年生からは他の専門性にも幅を広げた講義や研究テーマを受講できる教育カリキュラムにしています。現在、大学等でもアクティブ・ラーニング＊を取り入れた授業改善に取り組んでおりますが、高専の教育は、約 50 年前の高専設置時からアクティブ・ラーニングを取り入れた教育内容になっているとも言われています。

保護者のみなさまにおかれましては、授業参観に関します率直なご意見をいただき、本校の授業改善に寄与いただけますと幸いです。最後に、今後とも本校および担任との連携を密にし、苫小牧高専における教育・研究、学校・寮生活等のご理解ご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。

（補足）用語説明

＊アクティブ・ラーニング（参照先：文部科学省資料）

「教員による一方向的な講義形式の教育とは異なり、学修者の能動的な学修への参加を取り入れた教授・学習法の総称。学修者が能動的に学修することによって、認知的、倫理的、社会的能力、教養、知識、経験を含めた汎用的能力の育成を図る。発見学習、問題解決学習、体験学習、調査学習等が含まれるが、教室内でのグループ・ディスカッション、ディベート、グループ・ワーク等も有効なアクティブ・ラーニングの方法である。」

寮祭

楓和寮

文化委員長　環境工学科４年　高橋絵巳子

今までの寮祭は先輩方が企画したゲームに参加し、楽しむだけのものでしたが、今年は違いました。

毎年、文化委員会は寮祭の中でも本祭のスポーツ大会の企画を担当しています。去年までも文化委員として寮祭の運営には携わっていましたが、文化委員長の立場として、責任を今まで以上に感じました。

私自身、去年の寮祭当日に参加できなかったため、当日委員はどのような仕事をしたのか、司会進行をどのように行ったかなどを把握することができず、不安が大きかったです。

至らない点が多々あり、スポーツ大会本番や前準備でトラブルも発生しましたが、文化委員のサポートや寮生の補助役員の方々や先生方のお陰様で寮祭は成功することができたと思っています。

今年度で文化委員長としての役目は終わりますが、来年は元文化委員長の立場としてサポートしていき、寮祭の成功に貢献していければと思っております。

春季体育大会

体育委員長　物質工学科５年　魚津　諒大

　今年度の春季体育大会も、例年通り一日開催で行い、無事すべての競技を行うことができました。
　今回の体育大会を振り返ると、前年度から競技を２種目変更したこともあり、前年度よりも大きな盛り上がりを見せました。陸上競技では本年度導入した二人三脚、毎年行っている駅伝や学科対抗リレー、球技ではフットサルやソフトボール、卓球などが盛り上がりを見せました。また、大きな怪我や小競り合いもなかったため各クラスの競技出場者は集中力を欠くことなく、白熱かつ冷静に競技に臨めていたと思います。
　しかし、今年度は去年の反省を克服するとともに、新たな反省点も見えました。競技が変更になったことにより競技終了時間が遅くなり、去年に比べ運営を担う体育委員会内の連携は少し不足しておりました。冬季体育大会はこの反省を活かして頑張りたいと思います。
　最後に今大会を運営するにあたり協力していただいた体育委員や学生会、審判の手伝いをしてくださった各部活動や先生方、本当にありがとうございました。今後の体育大会がより、いいものとなるように一生懸命頑張っていきますので皆さんご理解ご協力よろしくお願いします。

イブニングセミナー

苫小牧高専×ココトマ合同イベント「イブニングセミナー」を開催しました

　7月23日（月）から7月27日（金）の19時より、苫小牧駅前ふれんどビル1階「ココトマ」にて、『イブニングセミナー』を開催いたしました。
　本事業は地域の方に本校の活動や教員を知ってもらうことを目的として、昨年度よりココトマラウンジにて開催しており、今年は開催時期を10月から7月に変更して実施しました。今年はそれぞれ以下のテーマで本校教員が、参加者に問題を出したり、聞くだけではなく実際に体を動かしてみたりなど様々な講演を行い、５日間で約61名の方に参加いただきました。

7/23(月)：山際教授　「日本語の明日はどっちだ」
7/24(火)：柿並准教授　「南極の自然と南極観測」
7/25(水)：佐々木准教授「現代の家族をめぐる法」
7/26(木)：長澤准教授　「宇宙は何でできているか？」
7/27(金)：多賀講師　「頭と体を使って、Let's 脳トレ！」

【23日(月)講演の様子(山際先生)】

【24日(火)講演の様子(柿並先生)】

【25日(水)講演の様子(佐々木先生)】

【26日(木)講演の様子(長澤先生)】

【27日(金)講演の様子(多賀先生)】

CAMPUS 2018

平成 30 年度　オープンキャンパス実施報告

教務主事補　松田　奏保

8月 25 日（土）と 26 日（日）に今年度のオープンキャンパスを実施しました。初日はあいにくの雨天でしたが、お足元が悪い中も多くの方々にお越しいただき、天気が良かった2日目を合わせての来場者数は 1,300 人と過去最高となりました。苫小牧市内をはじめ、胆振、日高、札幌、石狩、空知、十勝など遠方からもお越しくださいました。ご来校いただいた中学生の皆様、保護者を含むご家族の皆様、中学校教員の皆様に厚く御礼申し上げます。

オープンキャンパスでは、「学校概要説明」「施設見学ツアー」「学生寮見学」「入試問題解説（数学、理科、英語）」を行い、学生生活や進路先などの学校概要や、本校にある多くの施設の案内、そして入試問題の傾向や解答方法についてお伝えしました。学生寮の食堂では昼食をとることができるようにし、寮生活の一端を体験できることもあって、多くの方々にご利用いただきました。

また、５つの専門系がそれぞれに設けた「体験コーナー」「実験コーナー」「展示コーナー」では、各専門分野に関わるいろいろな実験の体験や、卒業研究や実習での制作物の展示などを行いました。１つの系だけではなく、2つ、3つ、もしくは５つ全部の系の実験を体験していただいたことで、苫小牧高専で学ぶ内容についての理解を少なからず深めていただけたことと思います。これらの専門系のコーナーでは、各系に所属する在校学生（第４、５学年）にも協力を依頼し、実験内容や実施方法についてわかりやすく説明をしてくれたり、参加者からの質問に答えてくれたりしました。「優しいお兄さん、お姉さん」のおかげで、参加された方々は安心して楽しく体験ができたようです。夏休み中にも関わらず、時間をかけて準備をし、協力してくれた在校学生の皆さんにも心から感謝いたします。

これからも多くの方々に苫小牧高専に興味関心を持っていただけるよう、オープンキャンパスをはじめホームページや説明会などで様々な情報を発信してまいります。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

KOSEN OPEN

第54回 北海道地区国立工業高等専門学校体育大会 成績一覧

団体戦

種　目		苫小牧	函館	釧路	旭川
陸上競技	男　女	3位	2位	1位	4位
バスケットボール	男　子	1位	3位	2位	4位
	女　子	3位	1位	4位	2位
バレーボール	男　子	2位	4位	1位	3位
	女　子	3位	1位	2位	4位
ソフトテニス	男　子	4位	2位	3位	1位
卓　球	男　子	2位	3位	1位	4位
	女子（オープン）	1位	—	2位	—
柔　道	男　子	2位	—	1位	—
剣　道	男　子	1位	4位	2位	3位
	女　子	—	—	—	1位
バドミントン	男　子	2位	3位	1位	4位
	女　子	2位	3位	1位	4位
硬式野球	男　子	3位	3位	2位	1位
アーチェリー	男　子	1位	4位	2位	3位
テニス	男　子	2位	3位	1位	4位
サッカー	男　子	1位	3位	2位	4位
ハンドボール	男　子	2位	1位	—	—

個人戦

種　目		1位	2位	3位
ソフトテニス	男子ダブルス	齋藤（旭川）	堀井（苫小牧）	白瀬（釧路）
		佐藤（旭川）	菅原（苫小牧）	沼田（釧路）
	女子シングルス	渡辺（苫小牧）	小野寺（苫小牧）	—
	女子ダブルス	渡辺（苫小牧）	太田（旭川）	—
		小野寺（苫小牧）	西山（旭川）	—
卓　球	男子シングルス	佐藤（釧路）	濱野谷（苫小牧）	相澤（釧路）
	女子シングルス	中辻（苫小牧）	小川（釧路）	西脇（旭川）
	男子ダブルス	細川（釧路）	佐藤（釧路）	高島（苫小牧）
		上野（釧路）	相澤（釧路）	塚本（苫小牧）
	女子ダブルス	中辻（苫小牧）	小川（釧路）	—
		石塚（苫小牧）	峯山（釧路）	—
柔　道	男子 60kg 級	竹田（苫小牧）	中村（釧路）	—
	男子 73kg 級	松尾（苫小牧）	古田（釧路）	長谷川（旭川）
	男子 90kg 級	坂本（釧路）	山下（苫小牧）	—
	男子 90kg 超級	福躍（釧路）	—	—
剣　道	男子トーナメント	高松（苫小牧）	杉山（旭川）	及川（苫小牧）
	女子リーグ	北村（旭川）	田中（旭川）	大西（苫小牧）
バドミントン	男子シングルス	堺（釧路）	堂髙（苫小牧）	髙橋（釧路）
	女子シングルス	工藤（釧路）	平元（釧路）	金丸（函館）
	男子ダブルス	堺（釧路）	岡村（苫小牧）	伊藤（苫小牧）
		遠藤（釧路）	髙田（苫小牧）	堂髙（苫小牧）
	女子ダブルス	工藤（釧路）	平元（苫小牧）	金丸（函館）
		村山（釧路）	熊谷（苫小牧）	宮野（函館）
テニス	男子シングルス	石垣（苫小牧）	田中（苫小牧）	元木（旭川）
	女子シングルス	杉山（函館）	野上（苫小牧）	柏木（釧路）
	男子ダブルス	藤田（旭川）	廣瀬（釧路）	天野（釧路）
		牧野（旭川）	斎藤（釧路）	若園（釧路）
	女子ダブルス	杉山（函館）	野上（苫小牧）	浅野（苫小牧）
		亀谷（函館）	松山（苫小牧）	工藤（苫小牧）
アーチェリー	男　子	大西（苫小牧）	佐藤（苫小牧）	小濱（苫小牧）
	女　子	板谷（苫小牧）	片岡（苫小牧）	—

高専体育大会

第53回 全国高等専門学校体育大会の結果について

第53回全国高等専門学校体育大会が8月18日（土）～9月2日（日）までの日程で九州沖縄地区の各競技会場において開催されました。本校からは、陸上競技、バスケットボール、テニス、ソフトテニス、柔道、剣道、サッカー、卓球、水泳の9種目に67名の選手が出場しました。成績の詳細は次のとおりです。

第53回 全国高等専門学校体育大会の成績

◎陸上競技

（男子）

800m	本間龍之介（K4）	予選敗退
	岩城　康太（3-3）	予選敗退
1500m	岩城　康太（3-3）	予選敗退
	吉井　　陸（1-1）	予選敗退
5000m	宇佐美匠也（3-3）	19位
	竹田　悠真（1-4）	24位
	田中叙多郎（1-5）	予選敗退

（女子）

100m	田端　紗来（1-4）	7位
800m	田端　紗来（1-4）	5位
	織本　彩花（3-1）	予選敗退
砲丸投げ	織本　彩花（3-1）	16位

◎バスケットボール

（男子）　予選リーグ敗退

◎ソフトテニス

（男子）

個人戦ダブルス

菅原　佳祐（2-4）／堀井　翔太（1-2）1回戦敗退

（女子）

個人戦ダブルス

渡邊　美麗（3-2）／小野寺日菜（2-2）2回戦敗退

◎卓球

（女子）

団体戦　予選リーグ敗退

個人戦シングルス　中辻　綺海（3-3）予選リーグ敗退

個人戦ダブルス　中辻　綺海（3-3）

石塚麻里奈（2-2）予選リーグ敗退

◎柔道

（男子）個人戦

60kg級　竹田　　聖（1-5）1回戦敗退

73kg級　松尾　拓郎（1-4）1回戦敗退

◎剣道

（男子）

団体戦　予選リーグ敗退

個人戦　髙松　永遠（J5）1回戦敗退

◎サッカー 1回戦敗退

◎テニス

（男子）

個人戦シングルス　石垣　　倫（M4）1回戦敗退

◎水泳

総合　第42位

（男子）

50m自由形	瀧谷　慧斗（A5）	予選敗退
	小野　静也（2-1）	予選敗退
800m自由形	岸本　悠希（J4）	予選敗退
100m平泳ぎ	井筒　歩夢（1-4）	予選敗退
200m平泳ぎ	岸本　悠希（J4）	予選敗退
100mバタフライ	井筒　歩夢（1-4）	予選敗退
200m個人メドレー	藤村　尚也（A5）	予選敗退
	大原　　拓（1-5）	予選敗退

（女子）

50m自由形	沼田　りこ（S4）	予選敗退
	菊池　結凪（2-2）	予選敗退
100m平泳ぎ	菊池　結凪（2-2）	予選敗退

国際交流

香港 THEi 受入

6月18日（月）から22日（金）まで、香港高等教育科技學院（THEi）で建築を専攻している学生20名と教員2名を受け入れました。

本校と香港 THEi は、平成25年度に学術交流協定を締結しており、来校するのは平成26年度に続き2回目になります。

今回は、学生交流と日本の防災・自然保護等の取組を学ぶことを目的として行われ、専攻科生と香港 THEi 学生による建築技術や防災についてのプレゼンテーション、有珠山での実習及びリサイクル関連企業や防災学習センターでの見学を行いました。

その他、専攻科生と香港 THEi 学生混合グループでパスタブリッジを作成し、おもりを載せて強度を競うコンペティションを行いました。グループ毎にさまざまな構造のブリッジとなり、コンペ中はおもりを載せるごとに歓声があがっていました。

専攻科生にとっては、英語による発表やグループディスカッションでのコミュニケーション能力向上を図る貴重な機会となりました。

カセサート大学学生インターンシップ

6月1日（金）から7月31日（火）までタイ・カセサート大学の学生アティポン君が本校でインターンシップを行いました。

道内2高専（旭川高専・本校）とタイ・カセサート大学は、平成29年度に学術交流協定を締結しており、今回、その交流の一環として初めてインターンシップを受け入れたものです。

アティポン君はインターンシップの間、学生寮に滞在し、機械系小薮准教授の指導のもと流体工学に関する研究に取り組みました。

研究以外でも積極的に本校学生と交流し、休日には本校専攻科生と富良野を訪れるなど、日本の文化や自然に触れたようです。

最終日には、黒川校長より本インターンシップでの経験を今後の研究に生かしてもらいたい、と労をねぎらう言葉があり、修了証が手渡されました。

なお、今年度は2月から3月に本校学生もカセサート大学にインターンシップ派遣する予定となっております。

モンゴル教員研修

6月25日（月）から7月19日（木）まで、モンゴル IET 高専のバヤルマー先生と新モンゴル高専のオユンジャルガル先生を受け入れ、バイオ化学系の専門科目研修を行いました。

お二人の先生は創造工学科応用化学・生物系で実験の体験、学生指導のためのディスカッションのほか、企業見学等を約1か月間の長期にわたり真摯に取り組まれました。

また、滞在中には支笏湖なども見学に訪れ、モンゴルとは異なる自然環境や日本文化に対する見聞を広めたようです。

最終日には黒川校長より修了証を手渡され、すべての研修プログラムを無事に終了し、帰国の途につかれました。

研究室紹介

電気電子系 電力システム研究室

C棟（電気電子棟）1階にあるピカチュウの着ぐるみと日本の電力地図が目印の研究室です。鵬翔会館と校舎を行き来するときに見かけたことのある方も多いと思います。メンバー表は毎年テーマを決めて作成しており、今年はスターウォーズのR2-D2がモチーフになっています（H29はボウリング、H28は将棋、H27はコップのフチ子）。

現在のメンバーは、専攻科2年生1名、1年生1名、本科生3名で活動しており、研究のメインテーマは「太陽光発電と風力発電に代表される再生可能エネルギーが大量導入された電力システムの円滑な運用」に設定しています。ここ5年でメガソーラーが急増しましたが（胆振に道内の約半分！）、読者の皆さんは再生可能エネルギーにどのようなイメージをお持ちでしょうか？おそらく、「発電時に二酸化炭素を排出しないクリーンなエネルギー」が大多数でどちらかといえば好意的な印象を持っている方が多いと思います。しかし、電力システムの運用サイドから見ると、「発電が天気任せ」という特徴が非常に扱いにくく、このデメリットをいかに他の発電方式などでカバーするかが大変重要です。例えば、北海道全体での電力の発生と消費は秒オーダーで一致させなければならず、このバランスが崩れると停電してしまうので、再エネの出力低下分は他の発電所の出力を増やして補わなければなりません。停電を実際に試すわけにはいかないので、コンピュータ上でモデル化して分析する技術が必要で、本研究室でもその技術開発に取り組んでいます。

研究室の行事としては歓迎会と進路決定祝、各種発表会の打ち上げを恒例で行っており、ここ数年はボウリングで盛り上がっています。目指せパーフェクト！

高専協力会だより

協力会の活動について

1. 事 業

（1）専攻科研究・研究シーズ発表会の開催

苫小牧高専教育・研究フォーラム2017
日　時：平成29年12月5日（火）17：10～
場　所：グランドホテルニュー王子3階「グランドホール」
・基調講演
演　題：『人づくり・ものづくり』
講　師：㈱光合金製作所　取締役会長　井上 一郎 氏
・協力会助成事業に係る報告
『ハスカップビネガーを使用した教育実践』
報告者：創造工学科　教授　岩波　俊介 氏
専攻科2年生　澤畑　圭佑 氏、横山　港 氏
岩山　大介 氏、野田　努夢 氏
・専攻科研究発表及び創造工学科紹介
発表者：専攻科1年生23名、創造工学科教授4名
・交流会

（2）I・Uターンマッチングシステムへの参画

会員企業37社が参画

（3）会員企業合同研究会の開催

第6回苫小牧工業高等専門学校協力会会員企業合同研究会
日　時：平成29年12月15日（金）14：00～16：50
場　所：苫小牧工業高等専門学校 第一・第二体育館
出展企業：39社　参加人数：高専生227名
内　容：30分ごとに4回の個別研究会

（4）地域共同研究センター並びにキャリア教育センターとの連携

随時実施

（5）苫小牧高専公開講座への協力

苫小牧高専平成29年度公開講座への後援（適宜）

（6）学生との交流・共同事業

・苫小牧高専「創造工学Ⅰ」における「身近な職業人インタビュー」への協力
・苫小牧高専「創造工学Ⅰ」における座談会「ジョブトーク」への協力

（7）その他の関連セミナーへの協力

苫小牧高専主催
「科学のとびら - 苫小牧高専実験教室 -」への後援

2. 各 種 助 成

（1）研究費助成及び図書寄贈

研究費700,000円
研究図書300,000円
苫小牧高専教育・研究フォーラム2017後の懇親会にて助成・寄贈

クラブ活動報告

ダンス同好会

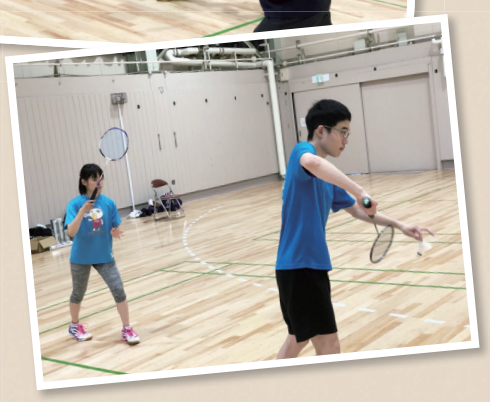
物質工学科４年　髙橋　茉那

ダンス同好会は現在、１年生から専攻科生まで合わせて 33 人で活動しています。活動内容としては、週に１，２回程度体育館で毎年秋に行われる高専祭や冬休み前に行われる冬フェスにむけて練習を行っています。去年の主な発表内容として、高専祭では開会式と２日目の野外ステージの発表、冬フェスではダンス同好会での発表と、吹奏楽部、ポピュラーソング部と一緒に発表を行う三部合同発表にて作品を披露しました。

本同好会では、「みんな楽しく」を目標に男女別や学年別でチーム分けをし練習を行なっています。完成する作品は１度の発表で８作品ほどになるのですが、どのチームも仲間と協力し合い、切磋琢磨しながら練習に取り組むためどの作品も完成度の高い作品に仕上がります。低学年の女の子が見せてくれる可愛いらしいダンスから、男の子達が見せてくれる力強いダンス、５年生の先輩達が見せてくれる息のあったダンス、全員で行う迫力のあるダンスなど、チームにより様々な面を見せるので、飽きずに最後の最後までわくわくしながら発表を見ることが出来ると思います。また、作品により衣装も異なりその年の流行を取り入れたり、レトロな雰囲気を出したりとこだわりがあるので、振り付けだけでなく衣装にも注目してみると楽しいかも知れません。

最近では中学校の体育でダンスが必修科目になったり、映画やドラマのチアダンが有名になったことでダンスへ興味を持った方が多いのではないかと思います。ダンスは他の運動部とは異なり、筋肉や体力を今以上につけることが必要ないので気軽に始めることができます。部員の殆どは未経験者ですが、先輩や同級生が優しくフォローしてくれるのですぐに上達することができます。ステージ上での経験は、今までのどの体験とも違う感情をあなたにもたらすかもしれません。私たちと一緒にステージに立ってみませんか？

バドミントン部



環境都市工学科４年　伊藤　篤史

バドミントン部は部員約 50 名と他の部活動よりも大人数で活動しています。普段は１～３年生が中心となり大会に向けて練習を行っています。４～５年生は、３年生以下が大会前になると部活に行き、練習相手になったりノックをあげたりしています。練習の内容としては、体力トレーニングやフットワーク、ノックなど基本的な練習を行った後に試合をしています。いずれの練習もメリハリがあり、真剣にやる楽しさを感じられると思います。

毎年７月に行われる高専大会に向けての練習になると、１～３年生主体の部活から４～５年生主体の部活へと変わります。部員全員で全国大会出場という目標に向かって練習するため、普段の部活よりも気合いの入り方や練習の雰囲気もグッとしまったものになります。

ここ数年、全国高専大会でも優勝したり、入賞される釧路高専に負け続けているため全国大会に駒を進めることはできていませんが、団体、個人ともに準優勝や３位という結果を残しています。

ここまで見ると一見厳しい部活のように思えるかもしれませんが、そんなことはありません。浜までランニングをし、そのまま浜で鬼ごっこをしたり、駒沢大学の近くにある北星公園で水遊びをすることもあります。

また、先輩と後輩の仲が良いこともバドミントン部の魅力の１つでもあります。部員が多いこともあり、いろんな学科、学年の人と仲良くなることができます。先輩から勉強を教えてもらったり、進路についてアドバイスをもらうこともあります。

最近各メディアでバドミントンが取り上げられるようになり、注目が集まっています。この機会に一度触れてみるのはいかがでしょうか。興味がある方はぜひ一度足を運んでみてください。

ポピュラーソング部

物質工学科４年　谷藤龍之介

ポピュラーソング部部長の物質工学科４年の谷藤龍之介です。私達は現在、総部員数 60 人を超える苫高専最大の大所帯で毎日活動しています。活動場所はホッケー場横のプレハブです。「60 人が使うにはあまりにも小さい」と部員全員に言われる小屋のようなもので夏は灼熱、冬は極寒と心技体が磨かれる部室で活動しています。ちなみに軽音学部と活動イメージは同じです。

さて、私達の活動内容は主に部室で練習を行い、学内外でライブを行うのが活動内容となっています。学内でのライブは主に３回あります。１つめは４月に行われる「新入生歓迎ライブ」です。このライブではとにかく新入生に楽しんでほしいという想いで演奏しています。２つめは 12 月頃に開催される「Winter Festival」です。通称冬フェスと呼ばれ、文科系サークルが丸一日２つの体育館を一杯に使って様々なパフォーマンスを行っています。私自身、今年度の文化局長に就任させていただき主催者の立場なので今までより一層イベントを盛り上げたいと考えています。一般の方々も来場可能なのでぜひいらしてくださいね。そしてポピュラーソング部最大のイベントは 10 月開催の「高専祭」でのライブです。初日は丸一日野外ライブで演奏し、２日目は体育館にて苫高専最強のバンドを決定する The Contest が行われます。部員達はグループを組みひたすらにこの日のために練習します。

時には互いの気持ちの衝突が起きたり、楽な道のりではありませんが様々な試練を乗り越えて挑む舞台は部員は勿論のこと、見に来てくださる観客の方々にとっても思い出として刻まれると思います。

ポピュラーソング部はいつでも入部希望歓迎です！ぜひ私達とライブで盛り上がりましょう！

構造デザイン部

機械工学科５年　福元　遥

私たち構造デザイン部は 11 月に行われるデザインコンペティション、いわゆるデザコンでの部門優勝を目指して活動しています。デザインコンペティションとは全国の高等専門学校で競われるロボコン、プロコンに続く、第三の競技です。主に土木系･建築系で学んでいる学生を中心として全国の高専生が参加するもので、生活環境に関連した様々な課題に取り組み、より良い生活空間について思案し各高専で培われた学力、デザイン力の成果を基として作品を作成し競い合うものです。

デザコンには、構造デザイン、空間デザイン、創造デザイン、AM デザインの４部門があり、私たちは、構造デザイン部門、AM デザイン部門に毎年参加しています。私が参加しているのは構造デザイン部門で、一体何をするものなのかというと橋をつくっています。正確に言えば、橋の模型のようなものを決められた寸法、重量、材料で設計し制作しています。

この与えられた条件の中でいかに軽く、いかに強く、そしていかに魅力的な橋を完成させた高専のみが、優勝を獲得することができます。今年は本校が構造デザイン部門の担当校でもるため、例年に比べて早めに活動を開始し、専攻科の OB の方にも手伝っていただき密度の濃い部活動の日々を送っています。

新入部員のみんなには、まずはんだごてを使い慣れるところから始めてもらい、１年生だけで試作品を作ってもらうなどをして徐々に技術力を磨いています。１度でもデザコンを経験したことがある部員とは、橋の構造やデザインの案をお互い共有しながら日々作品の製作に努めています。

部員のみんなそれぞれとても良く頑張ってくれています！今年こそ絶対に優勝を勝ち取りに行くので、皆さんどうぞ応援よろしくお願い致します！！

人事異動

平成30年6月30日付

事務職員・技術職員
【辞 職】
事務補佐員（菊田教授研究室）
高 橋　　薫

平成30年7月1日付

教育職員
【育児休業からの復帰】
創造工学科准教授
松 尾 優 子

平成30年8月7日付

事務職員・技術職員
【辞職】
学生課寮務係事務補佐員（寮母）
扇 柳 友 子

平成30年8月31日付

教育職員
【辞職】
創造工学科准教授
柿 並 義 宏

新任教員挨拶

創造工学科総合自然科学系の数学教員として着任しました有馬隆司と申します。
出身は兵庫県で、長野県、愛知県、少しイタリア、神奈川県と色々な場所で研究や教育に携わってきました。数学の教員ですが、物理や機械工学などにもこれまで触れてきています。趣味は旅行、写真撮影、テニスなどです。
専門は熱力学の数理に関する研究です。例えば、淹れたてのコーヒーが冷めたり、コーヒーにたらしたミルクが不思議な模様を描いたりするように、物理的対象が時間的・空間的に変化する現象は私たちの生活のいたるところで見られます。このような現象を数学によって理解しようという研究をしています。この研究は、数学的・物理的な面白さだけではなく、たとえば半導体製造などの微細加工技術における気体の流れの解析や、人工衛星や探査機などの宇宙機が大気圏突入する際に機体のまわりに生じる衝撃波の解析など、現代の工学・技術にも繋がっています。
高専では、学生の皆さんと共に高専生活と数学を楽しみ、多様な可能性を持つ皆さんの成長を最大限にサポートしたいと思っています。皆さんと色々な話ができればと思っていますので、教員室にも気軽に遊びに来てください。どうぞよろしくお願いいたします。

TOPICS

TOPICS 01 学生寮シューター訓練・前期避難訓練

5月7日（月）、新入寮生を対象としたシューター訓練を実施しました。4～5年生の指導寮生が2棟3・4階に設置してあるシューターを投下・固定し、新入寮生は指導寮生からアドバイスを受けながら、学生寮2棟3階と4階からの降下訓練を行いました。
8日（火）には寮生全員による避難訓練を実施しました。訓練は学生寮4棟1階の補食室から16時40分に出火したという想定で行われ、出火場所の確認、通報、非常放送を行い、指導寮生の誘導のもとに、グラウンドへ避難しました。全寮生の避難まで数分程度と迅速に行われ、点呼により安否確認を完了しました。その後、見藤寮務主事から、災害はいつくるか分からないので留意するよう等の講評があり、避難訓練は終了しました。
また、避難訓練終了後に、グラウンドにおいて新入寮生を対象とした消火器の操作訓練も行われました。

TOPICS 02 新入外国人留学生が苫小牧市長を表敬訪問

5月9日（水）、4月から本校に編入学した外国人留学生3名が苫小牧市長を表敬訪問しました。
苫小牧の第一印象について「気候は寒いですが、とてもいい街だと思います。」と感想を述べたモンゴル、マレーシアから来た留学生に対し、市長からは、将来それぞれの国を代表するエンジニアとなるべく勉学に励むよう、激励の言葉がかけられるとともに、とまチョップのピンバッジなどの記念品が、留学生一人ひとりに手渡されました。

TOPICS 03 学生寮で母の日のカーネーションを贈りました

母の日にちなみ、5月10日（木）に学生寮で働く女性（教職員、厨房の調理師、清掃作業員の方など）に日頃の感謝を込めて、寮生会の執行部の学生が、感謝の言葉とともにそれぞれ1本ずつ手渡しました。

TOPICS 04 道総研工業試験場成果発表会に出展しました

5月30日（水）にホテル札幌ガーデンパレスで「技術移転フォーラム2018工業試験場成果発表会」が開催され、道内4高専（函館高専、苫小牧高専、釧路高専、旭川高専）として出展し、パネルや成果物の展示を行いました。
本校からは、當摩教授（機械系）が参加し、「ロバストデザイン実践教育事例～ウインドカーパーツキットの最適化設計～」に関するポスターとモデル品の展示を行いました。
道内4高専の出展ブースには、道内企業の方など約140名が訪れ、教員の研究シーズをPRする一助になりました。

TOPICS 05 自動車安全運転講習会を実施しました

6月12日（火）に、自動車通学を許可された専攻科生を主な対象とした、自動車安全運転講習会を実施しました。
苫小牧市内の「NDS中野自動車学校」から講師をお招きし、ドライブレコーダーによる実際の映像も交えて、交通事故の実態や安全運転に必要な心構えなどについて講演頂きました。
出席した学生からは、講演内容を受けて「今後も安全を意識して運転したい」との声が聞かれました。
自動車安全運転講習会は本年度が初の試みとなりますが、学生の交通安全意識啓発のため、来年度以降も継続して開催することを予定しています。

TOPICS 06 女子学生対象のメイクアップ講座と OGのキャリアデザイン講座を行いました

7月10日（火）に苫小牧高専男女共同参画推進室、同窓会「樽前会」、キャリア教育センターの共催による女子学生対象「就活のためのメイクアップ講座」と、OGを講師に招いた「女子学生キャリアデザイン講座」が行われました。

綺麗にセッティングされた化粧品や化粧道具に、参加した本科4年の女子学生は目を輝かせながら、流行のものではない就職活動のための好感度アップのメイクを楽しそうに学んでいました。4年生はインターンシップを控えており、その前に行われたことで満足度の高いものとなったようです。

その後他の学年の女子も加わり、物質工学科の卒業生による「女子学生キャリアデザイン講座」が行われました。

地元企業で生き生きと働いている先輩の言葉に真剣に耳を傾けており、講演後は一緒に和気あいあいとお菓子を食べながら話をするなど、和やかな雰囲気の座談会となりました。

TOPICS 07 書道部がリレー・フォー・ライフ 2018 とまこまいに参加しました

リレー・フォー・ライフ 2018 とまこまい（がん患者さんとそのご家族を支援するチャリティイベント）が7月21日（土）正午から22日（日）正午まで開催され、21日の開会式の後に書道部が書道パフォーマンスを行いました。

今回のパフォーマンスでは、参加された皆さんに元気を与えることをめざして、苫小牧アルテンの広い芝生の上で「希望」、「夏」、「鳳蝶（あげはちょう）」の3作品をきびきびした動きで力いっぱい書き上げました。

完成した作品の一部は大会期間中会場内に展示されました。

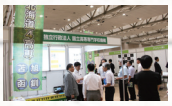
TOPICS 08 学生寮で夏のバイキングが行われました

近年恒例となった学生寮の夏のバイキングが7月25日（水）の夕食時に行われました。学生寮の食堂では、寮生サービスの一環として、夏と冬にそれぞれ1回ずつバイキング形式の夕食を提供しています。

男子寮は17時30分から、女子寮は18時からバイキングが開始され、待ちかねた寮生たちが列を作って、各自お皿に思い思いに食事を盛り付け、和気あいあいと楽しいひと時を過ごしていました。

今回のメニューは焼き鳥、たこ焼き、フレンチドック、鶏からあげ、丸ごとポテト、フライドポテト、中華ゴマ団子、稲庭風うどん、いかみみ唐揚げ、ハムカツサンド、イチゴムース、棒アイス、ゼリー、パインアップル、プチシュー等々含め20種類ほどのメニューが用意されました。

TOPICS 09 北洋銀行ものづくりテクノフェアに出展しました



7月26日（木）に札幌市のアクセスサッポロで「北洋銀行ものづくりテクノフェア2018」が開催され、道内4高専（函館高専、苫小牧高専、釧路高専、旭川高専）として出展し、パネル展示等を行いました。

本校からは、大橋准教授（情報科学・工学系）と中村助教（情報科学・工学系）が参加し、「車いす走行支援技術に関する研究」と「CT画像を用いたVR技術による人体の解剖学的3次元構造学習支援アプリケーションの開発」に関するポスター等の展示を行いました。

道内4高専の出展ブースには、道内企業の方など約120名が訪れ、教員の研究シーズをPRする良い機会になりました。

TOPICS 10 「女子カフェ in 苫小牧高専」を実施しました

7月21日(土)、本校において「女子カフェ in 苫小牧高専」を実施しました。

このイベントは女子中学生を対象とし、科学実験・工作を行うとともに女子高専生と直接トークをすることで、高専生活や技術者教育の魅力の一端を伝えることを目的としたものです。

当日は苫小牧市内のほか、千歳市・登別市・札幌市・石狩市から19名の中学生が参加。前半の時間では女子高専生の指導のもと、ジェルキャンドル・芳香剤・アクセサリチャームの制作に挑戦し、どの参加者もセンスあふれるオリジナルのアイテムを作成していました。

また、続く後半では女子高専生とケーキを囲むティータイムを設け、どの学生も和やかな時間を過ごしていました。

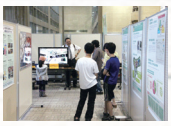
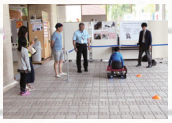
参加者からは「男子ばかりで固いイメージがあったけど、先輩方はみんな優しくて、女子も安心して通える学校だと思った。」「先輩方のリアルな話が聞けて良かった。」「いつもはできない体験ができて、すごく楽しかったです。」といった感想が聞かれ、当初の目的は達成することができたのではないかと考えています。

本校では今後とも、このような中学生向けのイベントを実施していく予定です。

TOPICS 11 吹奏楽部が金賞を受賞しました

8月4日（土）に、苫小牧市民会館で開催された、第63回日胆地区吹奏楽コンクールにおいて、本校吹奏楽部は大学小編成の部に出場し、金賞を受賞しました。演奏した曲目は、福島弘和「アトラス」で、9月1日（土）に、札幌コンサートホール「キタラ」で開催される、第63回北海道吹奏楽コンクールに出場します。

TOPICS 12 北海道庁にて道内高専の取組を紹介する展示会を開催しました

8月16日（木）・17日（金）の2日間にわたり、札幌市の北海道庁1階「道民ホール」にて、道内4高専と北海道との包括連携協定に基づく事業として、道内4高専の取組を紹介する展示会を開催しました。

会場では、昨年開催された高専ロボコン北海道地区大会の様子や道内4高専の学校紹介等のポスター展示を行ったほか、ミニカートの試乗体験を行いました。

このミニカートは、旭川高専の学生が子供たちに電気自動車への興味を持ってもらうために制作したもので、レバーの前後動作だけで簡単に操作でき、運転感覚を養うことができます。

2日間で延べ200人を超える方の来場があり、盛況のうちに幕を閉じました。

高専通信 vol.149

CONTENTS

01 第１学年オリエンテーション
02 第２学年オリエンテーション
03 授業参観
寮祭
04 春季体育大会
イブニングセミナー
05 オープンキャンパス
07 高専体育大会
09 香港 Thei 受入
カセサート大学学生インターンシップ
モンゴル教員研修
10 研究室紹介
高専協力会だより
11 クラブ活動報告
13 人事異動
14 トピックス

編集後記

平成３０年度前半の動きを伝える高専通信をお届けします。

４月には、創造工学科の３期生を迎え入れました。同時に、創造工学科は第３学年まで学年進行し、学生達は、創造工学Ⅲをはじめとする各授業や、創造工学科として新規にスタートする実習・実験に励んでおります。第２学年では、昨年同様、系配属後のオリエンテーションが行われております。４年次からスタートする、各系のコースの準備も進められており、今後の展開が期待されます。

国際交流に関しては、例年実施されているニュージーランドＥＩＴでの研修、香港Ｔｈｅｉへの学生派遣の他、タイ・カセサート大学学生のインターンシップ受入、香港Ｔｈｅｉからの学生派遣の受入、モンゴル高専教員の研修受入、「日本・アジア青少年サイエンス交流事業 さくらサイエンスプラン」によるモンゴルの３高専からの学生の受入等、昨年以上に活発に行われております。

最後になりますが、今年度前半最終月の９月は、台風、地震、それを起因とする大規模停電と、北海道は大きな災害に見舞われ、自然の猛威を改めて実感させられました。幸いなことに、本校では人的な被害は無く、施設設備面での被害も、比較的軽度で済みました。しかしながら、周辺地域におかれましては、相当な被害がでております。被害に遭われた方々には、心からお見舞い申し上げますとともに、一日も早く、復旧されることをお祈りいたします。

総務主事補　稲川　　清

2018年10月発行

《高専通信に関するお問い合せ先》
〒059-1275　苫小牧市字錦岡443　苫小牧工業高等専門学校　総務課総務係／TEL 0144-67-0213
https://www.tomakomai-ct.ac.jp／メールアドレス　pub_info@tomakomai-ct.ac.jp